

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
キリスト教と世界観		辻 昭子 フォレ・エノ 岩佐 博		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
必修	後期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
望ましい世界観を目指し、美しく生きたイエズスについて学ぶ。					
[授業の内容]					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イエズスの人格とその生き方を考える。</li> <li>・イエズスの語る主要メッセージを吟味する。</li> <li>・イエズスの呼びかけに応え、本学の建学の精神である「正しく、浄く、和やかに」の校訓を具体的に生きた人を2、3人選び紹介する。</li> </ul>					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
プリント、DVD、聖書（フランシスコ会のもの）			レポート、出席状況、授業態度を勘案する。		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次																
日本の言語と文化		佐藤康子・川瀬英嗣		全学科	2年																
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数																
必修	前期	15回	30時間	講義	2単位																
[授業のねらい・目標]																					
日本の言葉と文字を正しく習得し、実務に役立つ基本的な知識と技術を身に付ける。あわせて効果的な情報収集の方法を会得し、適切なコミュニケーション技法を学ぶ。																					
[授業の内容]																					
<table border="0"> <tr> <td>1. 日本語の特徴</td> <td>8. コミュニケーション概説</td> </tr> <tr> <td>2. 話しことばの原則</td> <td>9. 情報リテラシー教育の必要性</td> </tr> <tr> <td>3. 日本語の表記・仮名遣い、送りがな等</td> <td>10. 新聞からの情報収集方法①</td> </tr> <tr> <td>4. 敬語の種類と使い方・種類、過剰敬語等</td> <td>11. 新聞からの情報収集方法②</td> </tr> <tr> <td>5. 文章表現 ①レポートの書き方</td> <td>12. KJ法による情報収集と活用法</td> </tr> <tr> <td>6. 文章表現 ②意見文の書き方</td> <td>13. パブリックスピーキングの基本</td> </tr> <tr> <td>7. ビジネス文書の書き方・実習・就職関連</td> <td>14. 国際化時代の日本語</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15. まとめ</td> </tr> </table>						1. 日本語の特徴	8. コミュニケーション概説	2. 話しことばの原則	9. 情報リテラシー教育の必要性	3. 日本語の表記・仮名遣い、送りがな等	10. 新聞からの情報収集方法①	4. 敬語の種類と使い方・種類、過剰敬語等	11. 新聞からの情報収集方法②	5. 文章表現 ①レポートの書き方	12. KJ法による情報収集と活用法	6. 文章表現 ②意見文の書き方	13. パブリックスピーキングの基本	7. ビジネス文書の書き方・実習・就職関連	14. 国際化時代の日本語		15. まとめ
1. 日本語の特徴	8. コミュニケーション概説																				
2. 話しことばの原則	9. 情報リテラシー教育の必要性																				
3. 日本語の表記・仮名遣い、送りがな等	10. 新聞からの情報収集方法①																				
4. 敬語の種類と使い方・種類、過剰敬語等	11. 新聞からの情報収集方法②																				
5. 文章表現 ①レポートの書き方	12. KJ法による情報収集と活用法																				
6. 文章表現 ②意見文の書き方	13. パブリックスピーキングの基本																				
7. ビジネス文書の書き方・実習・就職関連	14. 国際化時代の日本語																				
	15. まとめ																				
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]																		
日本語検定 3級			出席率、授業態度、レポート及び小テスト																		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
カウンセリング概論		佐藤 勝男		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
人生に役立つカウンセリングの領域、原理、方法を知る。					
[授業の内容]					
1 定義とコンセプト		10 カウンセリングの課題			
2 カウンセリングの学問的背景		11 構成的グループエンカウンター思想と方法			
3 カウンセリングと関連領域との比較		12 キャリア・カウンセリング			
4 カウンセリングの種類・形態		13 メンタルヘルスカウンセリング			
5 カウンセリングの方法		14 職業人の基礎知識			
6 カウンセリングの哲学的基礎		15 まとめの小テスト			
7 職業倫理の意義と役割					
8 カウンセリング諸理論					
9 カウンセラーの条件					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
國分康孝著「カウンセリングの原理」誠信書房			授業態度、出欠回数、まとめの小テスト		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
人間関係論		佐藤 勝男		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
青年が人生で遭遇する人間関係の諸問題を解くのに必要な心理学的概念と方法を学習する。					
[授業の内容]					
1 人間関係の必要性		10 イラショナルビリーブの修正			
2 性格と人間関係		11 とらわれからの開放			
3 人間関係のパターン		12 地を囷にする人間関係			
4 不健康な人間関係		13 歪んだ人間関係			
5 健康な人間関係		14 人間関係の回復			
6 人間関係における基本的態度		15 まとめの小テスト			
7 人生の生き方					
8 生き方をつまづかせる要因					
9 気が楽になる人間関係					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
國分康孝著「人間関係が楽になる心理学」php研究所			授業態度、出欠回数、まとめの小テスト		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
パーソナルコミュニケーション		鷲岳 寛		全学科	2年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
心のふれあえる人間関係を持つことが教育・保育・介護・救護・看護などの援助活動にたずさわる者にとっては勿論、他の如何なる職場においても不可欠の技能である。すなわち、受容・共感・アセスメントのための傾聴技法と、傾聴した後の対応の技法を学ぶ必要がある。本科目はこれら技法の概念学習のあと、ロールプレイを用いて体験学習するのがねらいである。					
[授業の内容]					
1. カウンセリングの定義 2. カウンセリングの実際① 3. カウンセリングの実際② 4. カウンセリングの実際③ 5. 言語的技法① 6. 言語的技法② 7. 言語的技法③ 8. 言語的技法④ 9. 言語的技法⑤ 10. 非言語的技法 11. ロールプレイ① 12. ロールプレイ② 13. ロールプレイ③ 14. ロールプレイ④ 15. まとめ					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
①ピアヘルパーハンドブック、図書文化②ピアヘルパーワークブック、図書文化			①レポート②実技③授業態度		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
英語 I		鎌田、福士、成田		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
国際化社会に対応できる人材を育成するために、学生のニーズにあった実用的な英語力を身につけることを目指す。授業内容は、英検、TOEICといった検定対策クラスと英語基礎力養成クラスに分けて行う。					
[授業の内容]					
<b>■英検・TOEIC検定対策クラス</b> 1. オリエンテーション（授業概要の説明を含む） 2. ～13. 毎時、以下の内容で実施する。 （1）文法・語彙問題 （2）読解問題 （3）リスニング問題 14. 模擬試験 15. まとめ					
<b>■英語基礎力養成クラス</b> 1. オリエンテーション（授業概要の説明を含む） 2. ～14. 毎時、以下の内容で実施する。 （1）場面に応じた英会話の練習 （2）基本的な英文法練習問題 （3）音声指導 15. まとめ					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
必要に応じてプリントを配布する。			1. 試験（中間・期末） 2. 平常点（出席状況を含む）を総合的に評価する。		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
英語Ⅱ		鎌田、福士、成田		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
国際化社会に対応できる人材を育成するために、「英語Ⅰ」で学んだ内容を踏まえ、より確かな英語力を身につけることを目指す。授業内容は、英検・TOEICといった検定対策クラスと英語基礎力養成クラスに分けて行う。					
[授業の内容]					
■英検・TOEIC検定対策クラス			■英語基礎力養成クラス		
1. オリエンテーション（授業概要の説明を含む）			1. オリエンテーション（授業概要の説明を含む）		
2. ～13. 毎時、以下の内容で実施する。			2. ～14. 毎時、以下の内容で実施する。		
(1) 文法・語彙問題			(1) 場面に応じた英会話の練習		
(2) 読解問題			(2) 基本的な英文法練習問題		
(3) リスニング問題			(3) 音声指導		
14. 模擬試験			15. まとめ		
15. まとめ					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
必要に応じてプリントを配布する。			1. 試験（中間・期末） 2. 平常点（出席状況を含む）を総合的に評価する。		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
中国語Ⅰ		藤巻 啓森		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
この科目の目的は口語中国語の基礎力を身につけることである。特に発音（子音、母音、声調）をマスターできるように主力をそそぐ。まず中国語のすべての音節を自分で聞き分け、正確に発音することができる能力を身につけるようにする。そのための耳と口の徹底的な訓練過程で基礎的な語句や文を学びながら、単文を中心とした口語の基本文法をマスターすることを目的とする。					
[授業の内容]					
1. 発音①			10. 基礎文法を勉強しながら、日常会話を覚える⑥		
2. 発音②			11. 基礎文法を勉強しながら、日常会話を覚える⑦		
3. 発音③			12. 基礎文法を勉強しながら、日常会話を覚える⑧		
4. 基礎文法を勉強しながら、日常会話を覚える①			13. 基礎文法を勉強しながら、日常会話を覚える⑨		
5. 基礎文法を勉強しながら、日常会話を覚える②			14. 基礎文法を勉強しながら、日常会話を覚える⑩		
6. 基礎文法を勉強しながら、日常会話を覚える③			15. 総合練習（聞く、話す、読む、書く）		
7. 基礎文法を勉強しながら、日常会話を覚える④					
8. 基礎文法を勉強しながら、日常会話を覚える⑤					
9. 総合練習（聞く、話す、読む、書く）					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
「中国語キャンパスライフ」（朝日出版社）			1. 出席率及び授業態度 2. 試験		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
中国語Ⅱ		藤巻 啓森		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
この科目は、中国語Ⅰのあとをうけ、さらに一歩進んだ中国語の基礎事項を学習することにある。引続き徹底した発音訓練を行うのはもとより、文法的には複文を含むやや複雑な文法に進む。「中国語能力検定試験」の4級および3級に合格するように目指す。					
[授業の内容]					
1. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える① 10. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える⑩ 2. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える② 11. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える⑪ 3. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える③ 12. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える⑫ 4. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える④ 13. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える⑬ 5. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える⑤ 14. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える⑭ 6. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える⑥ 15. 総合練習2 7. 総合練習1 8. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える⑦ 9. 文法、複文を勉強しながら日常会話を覚える⑧					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
「中国語キャンパスライフ」（朝日出版社）			1. 出席率及び授業態度 2. 試験		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
情報リテラシーⅠ		坂本明裕・江口真理・成田恵子		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
コンピュータの基礎的操作を学び、これからの社会には不可欠なコンピュータ・リテラシーを身につけることを目標とする。Windowsの基本操作をはじめ、電子メールの使用法、ワープロによる文書作成法など短大での学習に不可欠な技能を学ぶ。また、学内掲示板での情報収集の方法についても学ぶ。					
[授業の内容]					
第1回～第4回			第5回～第15回		
1. コンピュータの基本操作 ①Windowsの基本操作 ②ログインとネットワーク ③コンピュータの仕組み ④ブラインドタッチによるキーボード入力 ⑤電子メールの操作 ⑥学内掲示板の操作 ⑦インターネットによる情報収集			2. Wordによる文書作成 ⑧Wordの基本操作 ⑨Wordを使用したレポートの作成 ⑩Word検定2～3級程度の文書作成		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
別に指示する			1. 授業への参加態度（出席を含む） 10% 2. 演習課題 50% 3. 試験 40%		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
情報リテラシーⅡ		坂本 明裕		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
情報リテラシーⅠで学んだ基礎の上に、短大での学習、及び実社会で必要とされるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。具体的には、データベースの処理法ソフトであるExcelの活用法、及び、PowerPointを利用したプレゼンテーションの方法を学ぶ。					
[授業の内容]					
第1回～第9回 1. Excelを用いたデータベースの基礎 ①Excelの基本操作 ②Excelの関数、グラフ操作 ③Excelによるデータベース処理法 ④Excel検定2～3級の演習			第10回～第15回 2. PowerPointを用いたプレゼンテーションの方法 ⑤PowerPointの基本操作 ⑥スライドの作成、追加 ⑦図形、表、グラフの利用 ⑧アニメーションの設定 ⑨PowerPointを用いたプレゼンテーション演習 各自のテーマについてのプレゼンを行う。		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
別に指示			1. 授業への参加態度（出席を含む） 10% 2. 演習課題 50% 3. 試験 40%		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
日本国憲法		宮崎 秀一		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	講義	2単位
[授業のねらい・目標]					
憲法とはどのような性格の法であり、どのような歴史的経緯を経て成立したのかを理解した上で、現代社会の中で憲法が果たす役割を、リアルタイムな政治的・社会的事件に即して考察します。					
[授業の内容]					
1. 法の中の法としての憲法：憲法の最高法規性 2. 誕生から60年：日本国憲法制定史 3. 日の丸・君が代：国民主権と象徴天皇制 4. 9条と自衛「軍」明記：平和主義と憲法改正問題 5. 髪型から尊厳死まで：自己決定権 6. 剣道必修授業拒否による退学：信教の自由 7. 首相靖国神社参拝：政教分離原則 8. 犯罪少年氏名報道：プライバシーと知る権利			9. マニュアルとクローン人間：表現・学問の自由 10. 夫婦別セイ：家庭生活と両性の本質的平等 11. コース別人事とセクハラ：男女雇用機会均等 12. 死刑廃止論：残虐刑の禁止と適正法手続 13. クーラーはぜいたく品か：生存権と社会保障制度 14. 裁判員制度とは：司法制度改革 15. 歩行喫煙禁止条例・道州制：地方自治の本旨		
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
①初宿正典他編著『目で見える憲法（第3版）』 ②笠井正俊他編『岩波セレクト六法平成21年版』			1 平常点（出欠席） 2 期末レポート		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
キャリア・サポート		大澤潤逸・藤巻啓森		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	15回	30時間	講義・演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
一般企業への就職希望者に限らず、公務員や保育士・介護福祉士などを希望する学生に、適性検査の習熟や一般常識の実力養成、作文・小論文の書き方、面接の受け方などの指導を通して、進路希望が達成できるように、総合的な就職力を養成する。					
[授業の内容]					
1. 就職試験や公務員試験の概要		10. 適性検査、一般常識（英語）			
2. 適性検査、一般常識（国語）		11. 適性検査、一般常識（英語）			
3. 適性検査、一般常識（国語）		12. 時事問題			
4. 適性検査、一般常識（国語）		13. 作文の書き方（演習）			
5. 適性検査、一般常識（国語）		14. 小論文の書き方（演習）			
6. 適性検査、一般常識（社会）		15. 面接の受け方			
7. 適性検査、一般常識（社会）					
8. 適性検査、一般常識（数学）					
9. 適性検査、一般常識（数学）					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
その都度プリントを配布			1. 出席状況や授業態度 2. レポート		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
スポーツと健康（実技）		溝江 ゆかり 他		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	演習	1単位
[授業のねらい・目標]					
健康や体力の増進を図り、合理的な運動を実施し、心身の調和的発達を促す。また、生涯明るく豊かな活力のある生活ができるように、スポーツに親しむ。					
[授業の内容]					
実技		②学外（本学以外のスポーツ施設）			
①学内		・カーリング			
ストレッチ・柔軟運動・筋力トレーニング					
4月 ピックルボール					
5月 バスケットボール					
6月 バレーボール					
7月 インディアカ					
その他 バトミントン・卓球など					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
			平常点（授業態度、出席状況）		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
スポーツと健康（講義）		溝江 ゆかり		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	後期	8回	15時間	講義	1単位
[授業のねらい・目標]					
健康や体力の増進を図り、合理的な運動を実施し、心身の調和的発達を促す。また、生涯明るく豊かな活力のある生活ができるように、スポーツに親しむ。					
[授業の内容]					
講義（7時間＋まとめ1時間 計8時間）					
◎身体の仕組みや健康について					
①やせ情報の真実		⑤ストレスの正体			
②失敗しないダイエット		⑥ストレスが原因？心身の不調			
③乳がん・子宮がん		⑦生命の誕生			
④遺伝性のがん		⑧まとめ			
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
講義 その都度プリントを配布			平常点（授業態度、出席状況）、小テスト、試験		

授業のタイトル（科目名）		授業担当者		学科	年次
芸術		鎌田千賀子・石澤直子 對馬恵美子		全学科	1年
必修・選択	開設期間	授業の回数	時間数	授業形態	単位数
選択	前期	15回	30時間	演習	2単位
[授業のねらい・目標]					
専門学科と学年を超えたクラブ活動の中で、豊かな芸術活動の一端に触れ、個々人の表現の可能性を拡げることを目的とする。クラブ活動の美術、華道、茶道のいずれかを選択し、各人の芸術に対する価値観を磨く。					
[授業の内容]					
前期		■美術：各自の能力に応じてデッサン、水彩画、油絵その他、共同制作などの技法を学び、自己表現の可能性を拡大。学生祭及び学外にて展示発表も行う。			
第1回：夫々のクラブ活動の活動方針、目標を説明		■華道：（財）小原流。日本の伝統文化の一つである生花の基本を、季節の花や植物を用いて学ぶ。毎週交代で、完成した生花を学内に飾り、学生祭では全員展示発表する。			
第2回～15回：各部活の活動		■茶道：江戸千家。日本の伝統文化の一つである茶道の基礎を、礼儀作法と併せて習得し継承して行く大切さを学ぶ。学生祭では、お点前を披露出来るように稽古を積む。			
後期					
第1回～学生祭まで：夫々の指導者の下クラブ活動を行い、学生祭で各クラブの展示及び技術の発表を行う。					
[使用テキスト・参考文献]			[単位認定の方法及び評価の観点]		
夫々の担当者の指示による。			前期～後期の学生祭までの出席率（60%以上）、活動状況、そして学生祭の展示及び技術発表で評価する。		